

区分・種別	重要文化財(古文書)		
名称	よしゅうにいけいず 与州新居系図 1巻 凝然筆 紙背消息		
所在地	西条市中野甲		
所有者	伊曾乃神社	管理団体	
指定年月日	昭和27年3月29日		
解説	<p>この系図は、伊予の豪族新居氏の系図で、その一族であった東大寺の高僧凝然<small>ぎょうねん</small>が自筆で書写したものである。鎌倉時代古系図の代表的遺品で、和気系図（滋賀県園城寺蔵）、海部系図（京都府籠名神社蔵）とともに、日本三大古系図といわれ、新居氏の沿革を知るのみならず、歴史研究上の貴重な文献である。</p> <p>凝然は、鎌倉時代の学僧で、仁治元年（1240年）越智郡高橋（現今治市）に生まれ、建治3（1277）年、東大寺戒壇院主<small>かいだん</small>となる。徳治2（1307）年、後宇多上皇に菩薩戒を授け、のち国師号を与えられた。諸宗、特に華嚴<small>けごん</small>、律に詳しく、著述127部1,200余巻といわれ、仏教史への造詣も深い。</p> <p>この系図は故郷に滞在中の弘安4（1281）年ころのものと考えられ、消息文の紙背に、平安時代中期から鎌倉時代にかけて約300年間、東予で活躍した新居氏一族12世300人あまりについて系譜を記載している。縦27.3cm、横373.6cmに及ぶものである。</p>		

